

日 刊
JP 新東京

No.1073

2013年
3月1日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4 3 5 3

2012年度新東京支部

宿泊分会代表者会議開催

～ 全体の交流を築き力強い新東京組織を～

2月17日(日)～18日(月)の二日間、かんぽの宿大洗で宿泊分会代表者会議が開催された。大洗と言えば、2年前の大震災による大津波で大きな被害を受けた場所でもある。さらに、今回利用するかんぽ事業団においても施設閉鎖の議論が浮上するなど、さまざま課題を抱えている支部でもある。

新東京支部は、心ひとつに運動の一つとして、震災復興の一翼を担うこと、そして、仲間とともに成長する組織をつくることを基本として今会議を開催した。

支部長挨拶抜粋

本日は大洗かんぽの宿での宿泊分会代表者会議の参加、大変ありがとうございます。

また、大変お忙しいなか、ポストライフ東京地方部長の村崎様にご参加いただきありがとうございます。

この会議の目的について一言触れさせていただきます。支部大会で決定した方針に

基づいて開く会議として、一つに支部活動、分会活動の活発・活性を目指すことを第一義に考えています。各分会の活動を付け合わせ、分会活動の活性化の糧にしていきたいと思えます。

二日間の日程で、①組織拡大・強化の取り組み、②経済活動の展開、③政治の課題、④平和の取り組み、⑤女性フォーラムの活動とさまざまな課題の議論・討論をしたいと思います。夕食時間開催する交流会も活発に行い、支部・分会活動をどうすれば活発化できるか、また、役員、幹事の自立をどう行うかの視点での交流もお願いします。

〓 組織部活動充実のために

組織部では組織拡大や支部組織活動の充実のために荒牧執行委員から問題提起がありました。

まず、現在の支部組織状況を会議参加者で確認しました。支部大会以降の組織拡大状況の具体的報告と各分会の取り組み方法などを出し合いました。そして、今回は新東京支部としては新たなやり方で組織拡大について考えてもらうことになりました。

各分会には、なぜ労働組合が必要なのか、加入のメリットはなにか、組合費は安くないのか、などを考えてもらうQ & A方式で

議論しました。色々な設問の答え方を各分会で考え発表してもらいました。始めから発表することを前提にしていたので、各分会は本当に真剣に話し合っていました。正しい答えはありません。みんなで考えたことで素晴らしい答えを出せたと思います。

執行部としてはオルグ強化期間の設定などを話し合い拡大目標の必達を確認しました。今後も様々な方法を検討し、組織拡大とともに新東京支部組織の基盤強化のために頑張っていきたいと思えます。

これからも皆様のご協力をお願いします。



全国25万人、東京32千人の組織達成目指し
全組合員一致団結して、新東京支部目標の

100名の拡大を達成しよう！！



現在、2013中央交渉の真只中ですが私たちの要求実現に向けて組織の力は絶大です。どんなに交渉が上手な人間が闘っても、組織数の後ろ盾には敵いません。

また、当支部では定年退職で組合を離れざるを得ない方が大勢います。私たちが求める政策・処遇・労働条件を実現するため、また、社会に向けて力強いメッセージを発信するために力を合せて頑張りましょう。

日 刊
JP 新東京

No.1074

2013年
3月4日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線4353

2012年度新東京支部

宿泊分会代表者会議開催 No.2

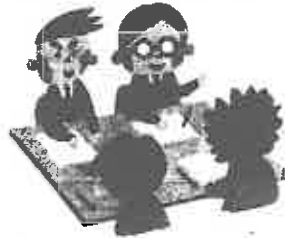
労働組合でできること...だからこそ出来ること

窓口分会の組合員Kさんから宿泊会議に参加した感想が寄せられましたので紹介させていただきます。

今回の宿泊会議は、組織活動や平和活動について等幅広い議事内容となり、多くの意見集約が行われました。

一日目の組織拡大行動では、労働組合の必要性について各分会から様々な意見が集まりました。また、今後の組織活動をしていく上で活用していけるもの

を得ることができ、参加した組合員全員が労働組合の必要性を本当に知る良い機会となりました。



二日目の学習会では、「労働組合でできること...だからこそできること」というテーマで、JR東日本労組が東日本大震災を経験した中で組合員からアンケートや聞き取りをしながら纏めた結果をもとに作成したDVDを

鑑賞しました。あれだけの災害の中、乗員・乗客に死者がなかったのはマニュアルの安全面だけではなく、想定外の状況でも自ら判断し行動できる社員教育を徹底してきたことが起因していることを知り自らを振り返ることができたと思います。

震災から約二年が経過し、メディアが震災の惨状を取り上げることが少なくなってきたと感じます。今回訪れた大洗にも大地震、そして大津波の脅威が襲いかかりました。町の求める復興とは特別な状態になるのではなく、普通の生活を取り戻すことだと感じました。甚大な被害を直接受けなかった者同士が、どれだけ伝えていくことができるのか改めて考えることができ、今後の「心ひとつに運動」がどうあるべきなのかを深く考えさせられました。

投稿

企画教育部では3つの視点から学習の場を開催、DVDを鑑賞しながら様々な事項について見識を深め、議論しました。



【政治の課題】

2012,12,16 衆議院総選挙での民主党惨敗。これまでの成果（改正郵政民営化法や改正労働契約法など）と、敗因を考える。そして、取るべき行動を確認する。

前回の選挙では4割以上の有権者が投票を棄権。とくに、20、30代の若者の投票率が極めて低い。これから、活躍すべき世代の民意が政治に反映されない。政治をあきらめ未来に希望が持てない社会。職場においても同様で疲弊感漂う。いかなるときも決して諦めない事が重要。一つは小さいが積もれば山となる。

今夏の参議院選挙、希望と安心を勝ち取る全体闘争！

「さだみつ克之」必勝に向け全力で闘う。

【平和の問題】

某テレビ局放映の「東京大空襲残された33枚の写真」を編集したDVDを鑑賞。今から68年前の3月10日。東京の下町でわずか2時間半の間に10万人以上もの人が虐殺された事実を学ぶ。その上で、いま私たちがすべき事を考えていく。伝える事の難しさ、事実を風化させない必要性を共有。

また、労組として社会的行動の必要性を確認。処遇・労働条件・事業環境も然ることながら平和や安心・安全な社会の創造にむけ追求することで意識統一。



退協プロジェクト
「忘れてはならない東京大空襲」
本日より9日まで、東京慰霊堂に
献納する千羽鶴の紐通しをします。
場所 支部事務室
時間 17時30分より約1時間
※組合員の皆様の「ご協力」をお願いします。



【心ひとつに運動】

J R 東労組が東日本大震災時の状況を12000名近い組合員の情報から作成した冊子をもとにDVDを作成。全体で鑑賞。安全への徹底した教育が咄嗟の事故にも対応できる社員の育成につながることを知る。

また、これまでのJ P 労組及び新東京支部復興支援行動の振り返り。「心ひとつに運動」新領域を探究。今後の取り組み確認。

※会議参加者でJ R 東労組作成DVD視聴の感想を提出されていない方は早急に提出してください。また、DVDをご覧になりたい方は支部又は分会役員にお申し出ください。

3月11日
「心ひとつに」カンパ行動

が始まります。

前回同様、南相馬にある福祉作業所「南相馬ファクトリー」の皆さんが作成した、缶バッジ・マグネットをカンパ者全員にプレゼントします。

日 刊 N 新東京	No.1076	2013年3月5日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

定年退職者・再雇用終了者の退職手続き等のお知らせ

定年退職者・再雇用終了者がいる各分会で対応をしていただいておりますが、まだ半数の方が提出されていません。残り一ヶ月を切りましたので、早急に提出をお願いします。

また、再雇用をされる方については、組合加入申込書（総1号）への記入もお願いします。

【定年退職者】

- ①「退職・死亡届兼総合共済金出資金払戻請求書」（総4-2号）
- ②「退職後の連絡先等変更届兼自動払込利用申込書」（総7号）
※各種任意共済に加入されている方
- ③年金共済給付金請求書（様式年5号）
※年金共済に加入されている方

【再雇用終了者】

- ①「退職・死亡届兼総合共済金出資金払戻請求書」（総4-2号）

不明な点がございましたら、福祉共済部またはポストライフサービスセンター（0120-562-105）までお願い致します。

2013年、野球サークル『新東京』 年間活動計画

①部費について

年、3000円(10~11日間、練習予定)

②活動開始日

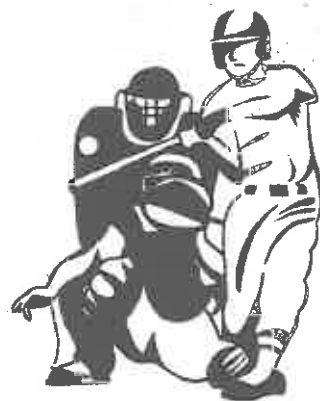
2013年3月27日(水) 10時~13時頃

場所は、夢の島野球場 4号面

③中央連協野球大会

2013年5月22日(水)

※計年等で、調整をお願いします。



★今年も部員を募集していますので、興味ある方・体を動かしたい方は、武田監督(3パック)または石井(2特)までお声を掛けてください!!

日 刊

ア新東京

No. 1077

2013年
3月6日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

冬晴れの青空、美しい川面、言問橋へ

「過去に学べ」

往時のままの古い欄干、

一部に黒焦げのある石造りで立っていた

一月二十七日、支部のボウリング大会のあと、有志で水上バスに乗り込んだ。日の出棧橋經由浅草ラインである。

日の出棧橋までの「道湾号」

は、船内でデイナーでもたしなみたくなるようなレトロな内装。

そして乗り換えた「竜馬号」は、

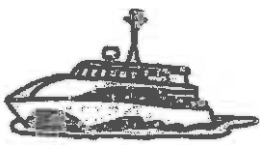
皆でBBQでもしたくなるような開放的な雰囲気。操舵席も見物できるし、小

春日和ののどかな船旅だ。

勝鬨橋、永代

橋、隅田川大橋、

新大橋、…等々、



多くの橋を次々ぐり抜け、両国国技館やアサヒビアホールを眺めつつ、約一時間後、浅草に着いた。

東京スカイツリーを見上げながら川沿いの小綺麗な遊歩道を、上流に向かって五分程進むと、今回の目的地、隅田川に架かる言問橋にたどり着く。

一九四五年三月十日午前零時八分、アメリカ軍のB29戦闘機による東京大空襲があり、下町一帯が一夜のうちに焼き尽くされ、十万人もの死者が出た。その被害は、広島の大原爆被害に匹敵するほどだったが、長いこと広島・長崎や沖繩地上戦のように多くは、語られてこなかった。その理由は、戦争体験者も有識者も慰霊碑建造に尽力していた

が、当時の占領軍（GHQ）は首都である東京が攻撃された事実、戦争の事実を消し去ろうとしたためだといわれている。

アメリカ軍は、東京の下町、すなわちぎつしりと木造家屋の立ち並ぶ手工業の町を標的と定めるや、その模型を作って、どうすればより早く、より広く、より多くの人民を殺傷できるかを念頭に何度も実験、研究した。その結果、空気の乾燥した、北風の強い夜中に、燃焼力の強いクラスター型ナパーム弾を投下したのだ。

被害の中心地である深川区では、木場や白河、三好町の材木や、運河に浮かぶ丸太が、たちまちのうちに燃え上がった。続々と投下される焼夷弾により、

城東区北砂町を始め、本所、浅草、日本橋、向島、…と大火災が発生、広がって行った。

我々が訪れた言問橋では、火災から逃げて兩岸から群集が押し寄せて一杯になり、橋の上で身動きができなくなったまま、あるいは真冬の隅田川に飛び込んで、追ってきた猛火に焼かれて千人近い人々が亡くなった。橋の欄干には、死体の脂肪が染み込んで、黒く残ったという。

そこに立つてみた。

現在の言問橋は、きちんと舗装され、車道の両側に歩道があつて、思ったより広く感じた。古い欄干だけが往時のまま、一部に黒焦げのある石造りで立っていた。その橋を進み、見下ろ

した隅田川の水
面までは三々四
メートル程の高
さがあり、あの
大空襲の夜更け
に、ここに大勢
の人々が飛び込

んだのかと思いを馳せた。

しかし、冬晴れの青空が映えて美しい川面や、現代的なガラス張りの建物が並ぶ今の下町の風景を目の当たりにすると、ここで多くの人々が犠牲となったその歴史の上に、21世紀の我々の平和な生活が成り立っているのだと、感慨深く思った。

東京に住み、下町・江東区で日々働く者として、東京大空襲の史実を心の片隅に留めておきたい、と考えている。（投稿）



日 刊	JP新東京	No.1078	2013年3月7日(木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

2013 春闘交渉の第一次回答について

2013春闘交渉は、これまで具体的回答が示されずに推移してきましたが、昨日の交渉の場で強く要請したことをふまえ、本日グループ各社から第一次回答が示されました。

示された内容は、JP労組の強い要求を受けて定期昇給を完全実施するとしたものの、一時金については「3.0月」、月給制契約社員のベアは「引き続き検討を行い、別途回答」、時間給については「一律的な引き上げは困難」等、他の要求項目もこれまでの組合主張が反映されていない厳しいものとなっています。

本部は、「到底受け入れられるものでなく、苦渋の選択(一時金大幅削減)を受け入れてきた2年間、事業への危機意識を共有し懸命に事業業績の改善に向け協力してきた組合員の労苦、ひたむきな努力に対する経営サイドの具体的メッセージが示されておらず、強い憤りを感じる」と猛烈な、抗議を行い回答の再考を厳しく求め、交渉を打ち切ったところです。

尚、第一次回答の全容については紙面多数となりますので、分会役員へ請求または組合事務室まで。

時忘れじの集い・慰霊碑

「哀しみの東京大空襲」供養式

3月9日(土)10時00分～

日時:2013年3月9日(土)午前10時30分より

場所:東叡山現龍院「哀しみの東京大空襲」

慰霊碑前(寛永寺輪王殿脇)

- 慰霊の集い 寛永寺長膳 浦井正明導師ほか
- あいさつ所 海老名香葉子(発願者)、林家正蔵、林家三平、二木忠男ほか

時忘れじの集い・平和の母子像

「時忘れじの塔」9周年記念式典

3月9日(土)11時30分～

日時:2013年3月9日(土)午前11時30分より

場所:上野公園いこいの広場内・清水観音堂脇

- あいさつ 海老名香葉子、林家正蔵、林家三平、他
- 参加者一同黙祷 ●その他 平和のイベント
- 市民の東京大空襲犠牲者慰霊の集いです。組合の動員ではありませんがお時間がありましたら、足をお運びください。屋外で寒いため手袋、マフラーなど防寒具は忘れずに…。

つながろうフクシマ! 場所. 明治公園

「さようなら原発大集会」

3月9日(土)14時00分～

さようなら原発1000万人アクションは、東日本大震災・福島第一原発事故から2年となる3月11日にかかる3日間を「つながろうフクシマ! さようなら原発大行動」と位置づけて、首都圏で集会や講演会を開催し、全国にも同時アクションを呼びかけます組合の動員ではありませんが、これからの原発政策を考えるものとして参加しましょう。15時15分からデモあり。一緒に行きたい人は、支部事務室へ…。

呼びかけ人、大江健三郎さん、落合恵子さん、澤地久枝さん他

日
刊

JP新東京

No.1079

2013年3月8日(金)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

震災から2年 「きりこ」にこめる南三陸の思い

震災からまもなく2年が過ぎようとしています。

実は私の妻の実家が、宮城県の南三陸町にあります。

先月、復興の進まないこのふるさとに帰省しました。

元は賑やかだった商店街は殆どがまだ更地です。しかしあちらこちらに、メッセージが彫られた「きりこ」が

立てられています。その数は60枚以上におよび、すべて海に向けて立てられています。写真の「きりこ」は、「南三陸さんさん商店街」にあるパン屋の跡地に立てられたもので、「父のパン復活、次代へバトンをわたす」と刻まれています。パン屋を含め商店街の人々は、今は高台で仮店舗を開いています。津波が来ないこの高台ではなく、生まれ育ったこの土地でもう一度店を構えたい。それができてはじめて復興だ。きりこはその第一歩だ。」という思いを持っています。

復興が進まない中、人々は少しでも希望を持とうと努力しています。その一方で、こうしたメッセージや被災した庁舎などをまるで観光地に訪れたかのように訪れてシャッターだけを切っていく人が多くいるそうです。私自身もそうした事情を考慮して、撮影には



十分配慮しました。

三陸地方では、元々正月に神棚にきりこを飾る習慣がありました。仙台市に住むとある美術家が、商店街の店主らに「店があった場所にきりこを掲げて記憶の縁(よすが)にして欲しい」と提案したそうです。「生きる喜びを分かち合いながら」(市街地付近でも時間は2年前から止まったまま)



「笑顔を絶やさず海とともに生きる」そんなメッセージもありました。

その一方で、右上の写真は、南三陸町の役場のあった辺りです。実は震災1年後には仮店舗の商店が数十店舗も集まっていた。しかし現在では理容店が1店舗営業しているだけとなっています。



1年前、国を挙げて復興プロジェクトに取り組んでいましたが、

国の施策はだんだんと復興への取り組みから経済対策へと変化してきました。皆、「復興」に生きる希望を懸けています。そうした人々の思いを政治はなおざりに

している。私は震災から2年経った現在のふるさと、南三陸町に帰省してそんな感想を持ちました。(投稿 窓口分会KK)

第9回郵政退職者東京協議会主催

「忘れてはならない! 東京大空襲」2013東京平和集会

3月10日(日)11時40分集合

場所 東京都慰霊堂(墨田区横網1丁目)

日
刊

新東京

No.1080

2013年 3月11日(月)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部

03-5606-6784

内線 4353

今日で東日本大震災から2年

復興が、未だに進まないのは、何故

ちょうど、二年前に東日本大震災が発生しました。

自分は、深夜勤明けで、途中で用事を済ませてから、地下鉄で帰る途中でした。地震が発生した時は、地下鉄の車内にいて、はじめは、地震とは気付かず、横揺れがすごいなという感じしか、持っていませんでした。

地下鉄が運休になり、バスを乗り継いで約6時間かけて帰宅したのは、今でも覚えています。

震災から、2年経ちましたが、被災地域の復興は、一向に進みません。

1995年に発生した阪神淡路大震災のときは、瓦礫の処理も早く、復興の青写真も1年ぐらいで出てきたように思います。阪神と大きく違うのは、大津波が発生し、被災地域が広範囲になったことと、津波による原子力発電所が、被害を受けたことにより放射性物質が拡散されてしまったことだと思います。しかしそれらを考慮に入れても、復興が遅いと思います。

復興がはじまるには、街が形成され、普通の生活が問題なく出来ることが最低条件だと思います。その財源として、今年から25年間にわたり、復興特別所得税として、所得税額に対して、更に2.1%が徴収されています。被災地が復興する為に多額の予算が必要ですが、その予算がうまく使われていないと思いますので、被災地が使いやすい方法に改善した方が良いと思います。

最後に、復興が達成されるのは、普段の生活が出来ることだと思います。そのためには、産業が根付いて生産活動が再開されることであり、観光資源があるところは、観光客が戻ってくことで、収入が得られ生活が出来ることになる。そのために、インフラの復旧が、終わったところには、風評を恐れずに観光に訪れてもよいのでは、ないかと思う。復興には、長い年月がかかるので、震災のことを忘れないことが、早い復興につながると思います。(投稿)

3・11を忘れない…**『心ひとつに運動』義援金カンパにご協力下さい！！**

新東京支部では相双支部及び相双支部エリアの復興支援として義援金カンパ行動を実施します。今回もカンパを頂いたみなさんに南相馬福祉作業所『南相馬ファクトリー』で作成した缶バッジ及びマグネットをプレゼントします。ご協力をお願いします。

期間：3/8(金)～3/29(金)



被災地の復興にはまだまだ長い年月が必要です。私たち J P 労組新東京支部は、今後も引き続き支援していくこととします。

● J P 労組東京ボランティア派遣団 (第 6 陣～第 10 陣)

基本的な考え方としては、「相双支部のニーズに対応する」「相双支部が負担にならない」という基本原則を遵守して取り組むこととなります。なお、新東京支部では第 8 陣に申込み、抽選結果待ちの状態です。



	作業期間	作業場所
第 6 陣	2013 年 3 月 22 日 (金)～ 3 月 24 日 (日)	組合員宅
第 7 陣	2013 年 4 月 12 日 (金)～ 4 月 14 日 (日)	組合員宅
第 8 陣	2013 年 5 月 17 日 (金)～ 5 月 19 日 (日)	組合員宅
第 9 陣	2013 年 6 月 7 日 (金)～ 6 月 9 日 (日)	組合員宅
第 10 陣	2013 年 8 月 9 日 (金)～ 8 月 11 日 (日)	組合員宅

※なお、派遣者選出は終了していますが希望者は支部執行委員にお問い合わせ下さい。

日 刊 P 新東京	No.1081	2013年3月12日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

第9回 郵政退職者協議会主催 「忘れてはならない東京大空襲」 190名超が参加し平和について論議

2013年3月10日、第9回 郵政退職者協議会主催「忘れてはならない東京大空襲」集会に参加してきました。朝から風が強く吹き、違和感を感じるくらいものすごく暑くなりました。平和の大切さを自分たちで守るんだとおもいから190名の参加がありました。新東京支部からも現退あわせて30名近くの組合員が参加しました。参加者の感想です。

- ・戦争をさかいに世の中がおっかなくなつたのがわかつた。おじいさんは戦争には行つたけど戦地には行かなかつたので、知人親戚に役立たずという扱ひをうけた。戦争は普段優しい人たちからも簡単に人間らしさを奪つてしまう。

平和であるからこそ労組で賃金や労働条件の話もできると考えてさせられた。意識し意志しないと平和など簡単に崩れ、憲法9条はないがしろされ、国防軍設立などに繋がる。平和であることを意識しながら日々の活動に邁進したい。

- ・今日は考えさせられることがたくさんありました。折り鶴を作るのがきっかけで参加するようになりまし

- ・父は長崎県生まれで長崎市内で原爆の恐ろしさを体験している。子供のころ父に連れられて原爆の上映会フィルムをさんざんみさせられイヤだと思つた。平和学習会のように動画上映すれば若い世代にも伝えやすいのではと思ひました。

- ・2度目の参加です。涙もろくなつた。戦争で亡くなつたひとが残された人も大変な思いをしたんだと感じました。祖母は満州にいたけれど何も話は聞いたことがなかつた。子や孫の代まで平和を伝えていかなくてはならないと思ひました。また来年も参加します。

- ・私のおじいさんは戦場で撃たれて左手が動かなかつた。何も語らない

人だったがつかつたと思います。

東京には慰霊碑もなく公設の資料館もない。3月10日をみんなが認めてくれる祈念の日にしたい。貧困や非正規化問題も戦争への道と関係しているといわれた。少しずつ一歩一歩やっていければと思います。

・また来年参加します！

・ 去年の沖縄平和学習で戦争の悲惨さを初めて実感した。戦争について若い世代は教科書でしか学んでいない。試験に出てくるから学んだが、大人になってからの学習が本当に大切なんだと思いました。人と人とのつながり「きずな」の大切さがわかった。

・ 初めて参加しました。戦争の記録映画とか知っているからと参加してこなかった。東京大空襲で10万人以上亡くなっているけど慰霊碑もなく追悼施設もなく資料館もなにもないことを知った。自分たちの下の世代には戦争の話なんて知らせなくていいと思っていただけがうと感じた。次回も参加します。

・ 下町で生まれ下町で育ったが東京大空襲のことは知りませんでした。

・ 劇団レモン座の「東京大空襲」朗読劇を観てきましたがとても良かったです。みんなの感想にもお互いに論議しあう新東京支部らしさがでている

感じがしてとても頼もしいと感じました。

・ 中学生のとき「東京大空襲はいつあったか」という問題が試験に出たけどほとんどのひとが答えられなかった。体験者の話を聞いて近くに感じられるようになった。教科書の中だけで終わらせてはならないと感じました。

・ 310で千羽鶴を献納することを銀座支部、ちょきん支部、かんぼ支部などに話したら、折り鶴が送られて来た。平和の願いがひとつかたまりになっていき「心ひとつに」の広がりを感じる。それにしてもじいちゃんたちは元気だ。しかし、どちらが長く生きるかといえば私たちかもしれない。自分の未来、そして後世に引き継ぐ社会が安心安全であるようにじいちゃん達の後ろ姿を見ながら引き継いで行きたい。

・ 組合の課題では平和の問題は最後の方にいってしまうが大切なんだと感じる。ひとつひとつやっけていき歴史にしっかり残していきたい。

全国大会では5年総括の提起もあり政治方針や平和の課題も論議しあうことになる。次の世代にしっかりとしたものをバトンタッチしていきたい。あともうひと踏ん張り頑張っています。

取り組みについては後日報告します

2013春闘交渉中 最終回答日は3月13日 一時金の上積みを示唆させるも隔たり ニ実務レベル交渉では一定の前進回答が示されるニ

最大の山場にむけ、連日、準トップ・実務レベル交渉を精力的に展開し、各社経営陣の前向きな対応を求めてきた中で、本日の事務レベル交渉で、一時金以外の第二次回答が示されました。

第二次回答の主な内容は「期間雇用社員の給与体系の見直し(時給制契約社員(郵便)のスキルダウンによる大幅な給与減額の是正策)」、「生活関連手当の柔軟な運用」、「福利厚生施策の充実」、「65歳希望者全員の高齢再雇用制度」についてであり、特に、今回、経済要求以外に重点的に交渉を行っているワーク・ライフ・バランスの実現、ワークルールの確立要求に対し、会社側がその必要性を真摯に受け止め、具体的に前進回答が示されたところです。

しかしながら、並行して行われた準トップ交渉では、今春闘要求の重要な柱である一時金については、一定の営業利益を確保することを前提に、少しでも上積みができないか鋭意検討しているとして、修正回答を示唆する見解が示されたものの、依然として労使の主張に隔たりがあるものと想定され、また、期間雇用社員(月給制契約社員・時給制契約社員)の処遇改善については、上記の回答が示されたほかは、具体的な回答引き出しにまで至らないことから、交渉を打ち切ったところです。

ひとまず、第一次回答からの前進回答が示された第二次回答要旨は次の通りですが、本部は、引き続き、事業の困難な現状を乗り越え、将来の会社の発展に寄与していく源泉は「現場力」であること、そのための「人への投資」が当面、経営陣がとるべき方策であることを繰り返し強く訴え、結果を導き出す力強い交渉を展開していくこととします。

《期間雇用社員の給与体系(郵便資格給制度の一部見直し)》

郵便の時給制契約社員がスキルダウンした際の給与の大幅減額の是正は、喫緊の課題であるとして、今春闘での解決を強く求めてきたものです。

第二次回答では、具体的に会社側から、以下のとおり、見直し策の考え方が示されました。

①時給制契約社員の通集配/混合I(5時間以上)の「スキル基準A習熟度あり」から「スキル基準A習熟度なし」になった場合(減額200円)は段階的

に100円ずつ減ずるよう見直す。

②「A習熟度なし」から「A習熟度あり」に上がる場合は、従来どおり200円ずつ引き上げる。

以上のとおり、資格給の上がり幅は従来どおり200円とし、下がる場合は、階段を設け100円ずつとしています。

《生活関連手当の柔軟な運用》

今春闘ですぐに改善できるものを検討し、早急に是正するよう求めてきた中で、第二次回答で、①通勤における認定の見直し(定期・回数券の認定方法)、②単身赴任手当の充実(支給要件の緩和)について回答を引き出しました。

①通勤手当における認定の見直し

現行、通勤手当の認定は、路線ごとに定期券、回数券代との比較を行い、より低廉な方で認定されています。この方法によると、社員にとって、定期から回数券認定に切り替わった場合に、一時的に高額返納が生じるといった問題が生じ、また、事務担当者にとっても調査等の事務煩瑣となっていました。今回、正社員について、通勤手当認定における回数券での認定を廃止し、実費と定期券を比較し、低廉な方で認定する方式とするとの考え方を示してきました。

②単身赴任手当の充実

※省略

《福利厚生施策の充実》

①早期に実施する施策(25年度中実施)と②実施にむけて継続検討する施策、の別に具体的回答を示してきました。

①早期に実施(25年度中)

○総合的福利厚生代行システム ○ベビーシッター・一時預かり利用助成
○介護助成 ○住宅販売会社の別途ワーク形成 ○生活設計セミナーの合同開催

②継続検討施策

職場レクへの助成、持ち家取得時の祝い金の創設等
(継続検討施策は、原資配分を考慮しつつ、制度の詳細を検討)

《高齢者雇用安定法関係》

65歳までの継続雇用制度について、経過措置(年金の報酬比例部分の段階的引き上げまでの現行協約の選考基準)を設けず、希望者全員の再雇用の協約化を要求してきたことに対し、第一次回答では「法律で認められている経過措置は設けたい」としていましたが、組合からの強い主張の結果、第二次回答で「経過措置を設けることなく、希望者全員を65歳まで継続雇用する制度に改める」との組合主張どおりの再回答を示してきました。

ほか、定年延長に対しては、今般の回答で組合要求をふまえ、枠組みを示してきた高齢再雇用制度の見直し議論とあわせて、議論を進めていく考え方が示されてきています。

最終回答日は3月13日

日刊
ア新東京

No. 1083

2013年
3月14日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

ノンフィクション朗読劇

「子どもたちの太平洋戦争」 を見てきました

震災と戦災のメモリアルパークを知っていますか？

3月10日、退職協議会主催の東京大空襲慰霊平和集会に行く前段に、劇団れもん座に呼びかけられていた朗読劇を見に11名で向かった。

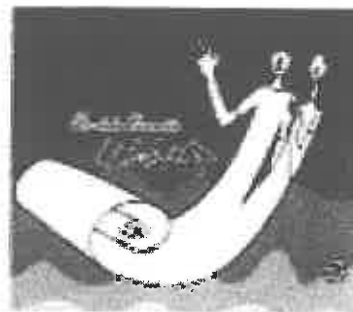
錦糸町駅から歩いて五分ぐらいの所にあり、三〇名も入らない小さな「東京フオークロア・

スタジオ」がありました。

この朗読劇は平成になって、戦争を考え直し、戦争で犠牲になるのはいつも女性・子どもだと、戦争体験者の私記を集め「妻と母の昭和20年史」としてまとめたものを岡崎征男さんが構成し直したのがこの朗読劇。

宗教・政治的なことは一切なしで戦争体験者の「悲惨な戦争を語り継ぎたい」という思いに応えておこなっているという。

客席と舞台は1メートルも離れていない。中央にはスクリーンがありパワーポイントで物語を進めていくものでした。



戦争当時の悲惨さと今日の慰霊碑をめぐる話が始まる。

舞台両脇に立った三人が戦争当時の服装であらわれ「私記」に込められた感情をリアルに描

いていく。

・ 要津寺に身をかきむしるものを感じる……。

・ 深川4丁目の親子像(東陽町のマツクの裏にある)は赤ちゃんを抱いて何か語りかけていることがわかる……。

・ 円通寺には濡れ仏がある。泣いているように見えるのは焼夷弾のしわざで、真っ赤な炎を浴びたその跡なのだ……。

・ 江東寺の慰霊碑は……。

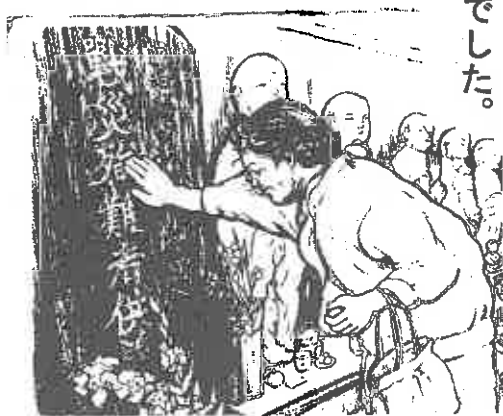
・ 絨毯(じゅうたん)爆撃の意味はわかりますか。皆殺しなんですよ……。

・ 学童疎開をした子供は50万人もいたことを知っていますか……ふるさとをむしり取られた小学生の気持ちわかりますか……。

・ 子供たちは竹やり訓練をやらされたんです……。これは子供に「アメリカ人を殺すために」ですよ……。

・ そんな時代があつて、今の平和がある……。

・ ……戦争体験者の血の叫びが伝わってくる感動的な朗読劇でした。あらためて戦争と今日の危険な動きに身を引き締められるものでした。



朗読アンサンブル・れもんの会は「どこにもない表現」スタイルで朗読や語りの指導を各教室で行っている。

「舞台に立つ」をコンセプトに年1回、ホテルや劇場で発表会(希望者のみ)を行っている。

会のシンボルマークタイトルを金田一春彦さん、やなせたかしさんにオリジナルデザインを作成してもらった

日 JP新東京 刊	No.1085	2013年3月18日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

平成25年度経営計画に関する 地方経営協議会を開催

J P 労組東京は、3月14日に日本郵便東京支社と「平成25年度経営計画に関する地方経営協議会」開催しました。

今回の地方経営協議会は、4月1日から実質統合以降の東京支社としての経営計画と郵便事業本部、郵便局本部それぞれの計画を中心に意見交換を実施しました。

1 福田東京支社長あいさつの要旨

郵便は厳しい状況が続いている。東京の総力を結集して東京の責任を果たしていきたい。損益を中心としたマネジメントを意識して、ビジネス地域に投資していく。地域区分局の改善、次世代システムの定着、D O S Sの活用などしっかり取り組んで行く。更に人材育成、社風改革、勤務時間管理の徹底についても重点項目として取り組んで行くのでJ P 労組のみなさまの協力をお願いしたい。

2 山内委員長あいさつの要旨

現在、2013春闘の真っ只中。組合員には頑張ったら報われるだということを感じてもらうことが大事。トップとして考えをどう伝えていくかが重要。社員がモチベーションを持って取り組むためには、トップが展望を語り、展望を示し、議論できる環境を用意し、結果を待つ。そして社員を励ますことなど、目に見える具体的方策が必要。J P 労組から提起される事項については真摯に受け止め、可能なものは実現するようお願いする。

3 意見交換項目

① 統合メリットの發揮

具体的な取り組みについて、事業本部、局本部の連携、マネジメントGの連携など重要。5年別の会社だったことからさらなる強化を。

② 次世代システム

スムーズな稼働に向けて不安がある。研修がしっかりされているか、JPEXの二の舞にならないよう対策を。

③ 損益を中心としたマネジメント

郵便局のネットワークの再構築について、ビジョンある店舗政策が必要。

④ コンプライアンス・品質管理の徹底

勤務時間管理の徹底が重点項目に入っていないが、あらゆる機会に徹底すること。

⑤ 社風改革

社員の声を聞いたあと、いかに実行するか、フィードバックするかがポイント。風通しの良い職場を作り、ハラスメントの無い環境作りに力を入れること。

等について意見交換をしました。

4 今後のスケジュール等

(1) 経営計画以外の営業方針、郵便再生アクションプランについては、細かいやりとりが必要なことから、今後分科会を開催し意見交換します。その内容については別途報告致します。

(2) 支部、分会について

4月19日までに、支部事業推進委員会、職場（部会）事業推進委員会を終了させることとします。

(3) 社員周知について

経営計画については本部、本社間の整理で3月29日までに社員周知を終了させることとなっていることから、支部に対し、事業推進委員会の前になるが社員周知はしていくことを伝えることとしました。ただし、局本部は、3月18日の朝いち情報で周知します。本日中に支部へ連絡するよう申し入れてありますが遅れる分会が予想されるので、事後報告となる場合があることを承知してください。

(4) ゆうちょ銀行、かんぽ生命は本部本社間での経営協議会もまだ未開催であることから職場推進委員会は新年度になってからとします。

以上

※ 2013春闘交渉妥結情報はJP労組新聞で確認してください！！

二普分会送別会開催

～退職者の皆さん、長い間本当に
お疲れ様でした！～

3月10日(日)、「居酒屋 田(DEN) 東陽町店」におきまして2普分会送別会が開催され、3月末をもって退職するUさん、Kさん、2普のOBで羽田分会所属のHさんの他、再雇用満了者の皆さまも招待して、盛大に行われました。来年度、退職を迎えるTさんの乾杯で始まり、宮澤分会長から退職者へ向けてあいさつをいただきました。併せて3月に転入した組合員の紹介も行われました。



この日は東京大空襲から68年が経ち、同じ日に開かれた平和集会に参加した組合員からの参加報告もあって、大空襲の実態と平和について考えることの大切さを知ることができました。

送別会も中盤にさしかかって、再雇用満了者への贈る言葉にかえすかたちで、満了者の皆さまからもあいさつをいただきました。



そしていよいよ本日のメインイベントである、退職者への花束贈呈式が行われ、豪華記念品とともに花束が女性組合員から手渡されると会場は大いに盛り上がりました。主賓である退職者の皆さまからあいさつをいただいて、会場は大きな拍手に包まれました。

大盛り上がりの送別会もいよいよ終わりを迎え、外立副分会長による中締めあいさつの後、分会長号令による恒例の「団結ガンバロー！」で送別会は終了となりました。

今回退職となる3名の皆さまには、長きに渡って2普のために貢献され、とりわけ前分会長のKさんはこれまで分会のために大変ご尽力いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。そして退職者の皆さま、長い間本当にお疲れ様でした。



日刊
新東京

新東京

No.1086

2013年
3月19日(火)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

若手組合役員交流会

～月島にて鉄板を囲みながら
熱い議論を交わす～

3月14日(木)、月島の「おしお 和(なごみ)店」において若手交流会が行われました。

新東京支部においてはまだまだ若手とされる、30代前半から半ばの各分会役員・幹事を中心に親交を深め、これからの支部を支えていくであろう世代で、結束を高めようという趣旨でした。

様々な分会から参加をいただき、勤務や休みなど合わせづらいなか、各分会役員や期間雇用社員など、10名以上の出席を得ることができました。当日は、酒井 執行委員にも同席をいただいて、交流会は始まりました。

会場となった「おしお 和店」は有名なもんじゃ焼きの店らしいのですが、私たちは食べる手もそこそこに、熱い鉄板を囲みながら、さらに熱い意見を交わし合いました。

やはり各職場の現状や問題点などの話が多く出るなかにも、春闘にまつわる給与の話や、組合未加入者に対して組合に興味・関心を持ってもらうにはどうしたら良いかなど、話題は多岐に渡って時間を忘れるほどでした。

18時半に始まった交流会も、気がつけば4時間も経っており、あっという間に閉店時間となってしまいました。

最後に今回の発案者である、高橋 一普分会書記長から「今後の組合活動を支えていくためには、私たちのような若手世代の結束が大切だと考えています。今後も、このような交流の場を設けていきたいと思っています」との挨拶をいただき、名残惜しくも交流会は終了しました。

東北被災地義援カンパ ご協力をお願い

震災から2年が経ちましたが、東北を中心として未だに正常な生活環境にない方が大勢いらっしゃいます。そういった方たちを少しでも支援するため、カンパ活動を行っています。

なお、カンパにご協力いただいた方には、南相馬市の福祉作業所で製作されました缶バッチまたはマグネットを差し上げております。

よろしくご協力のほどお願い致します。

詳しくは組合役員まで…

日刊
ア新東京

No. 1088

2013年
3月22日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

震災から二年 真の復興を

れにある。
にも関わ
らず、政

東日本大震災から二年が過ぎた。被災地では今も復旧・復興とはほど遠い生活を強い

府は様々な支援策を期限切れを理由に打ち切っている。

られている被災者。今現在、三十一万人を超す被災者が仮設住宅などで避難生活をしている。そして今も仮設住宅に入居を希望する被災者がたくさんいる。家を失い自宅再建が困難となり、バラバラになった家族と一緒に暮らしたいと願う人たちが。二年もの間、入居待ちが続く理由の一つは災害公営住宅建設の大幅な遅

岩手、宮城、福島の三県で仮設住宅に暮らす被災者は、九万七千戸(約二十三万人)。復興住宅の整備は三県ともに遅れているが、中でも宮城県は目標の五割弱となる七千戸について計画さえ未定という有様だ。また、復興住宅に入る資格審査も厳しく、震災前に住んでいた住居の解体が条件であるため、たとえ住めな

い状態であつても建物が解体されていなければ資格が発生しない。

東日本大震災から二年。国には被災地、被災者に寄り添った復旧・復興活動をしてもらいたい。被災者にはもう老後の蓄えなど残っていない。頼るすべは国しかないのだから。自民党の公約違反であるTPP(環太平洋連携協定)の参加は、被災地の農家にとつて大きな打撃となるだろう。収束にはほど遠い原発問題もしかり。除染の進捗は農業・漁業で生計を立てている人たちの死活問題になる。国が本腰を入れて被災者に寄り添った復興をしない限り、この国の未来の形は見えてこない。

(あきべえ)

映画 遺体～明日への十日間

東日本大震災からちょうど二年が経った11日に映画を鑑賞した。映画のタイトルは「遺体」。ショッキングな響きを持つだけに重い映画だ。しかし、見ていくにつれ「遺体」という言葉の意味が、日本人の人間性と死生観にまで関わっていることに気づかされた。

この映画はノンフィクション作家、石井光太の『遺体 震災、津波の果てに』が原作となっている。東日本大震災で甚大な被害を受けた三陸の港町、釜石で起きた遺体安置所でのルポを君塚良一がメガホンを取り、映画というフィルターを通して報道では伝えることのできなかつた部分に焦点を当ててみせた。

津波で亡くなった多くの遺体は、廃校となった学校の体育館に次々と運び込まれた。急ぎよ遺体安置所となった体育館では、警察関係者とともに同じ被災者である町の歯科医師や医師が遺体の身元確認作業にあっていた。人手が足りず疲労困憊の中、次々と運び込まれてくる遺体。時には顔見知りの遺体も搬送されてくる。終わりの見えない現実が彼らに重くのしかかっていた。そんな中、冷たくなった遺体に優しくいたわりながら声をかける男性がいた…。

市の職員をはじめ、医師、住職、葬儀社社員などは架空の人物ではなく、実在した人たちがモデルとなっている。映画では、かつて葬儀社で働いていたことのある民生委員が安置所の惨状を見て驚愕し、自分の経験を活かしたいとボランティアを申し出る。民生委員の遺体に対する人間としての尊厳と敬意は、やがて周囲の人間にも変化をもたらせてゆく。

君塚監督は映画を製作するにあたり、被災した釜石市に何度も足を運び、モデルとなった人たちに会っている。1人でも映画化を反対されたら映画は断念したという。君塚監督がメガホンを取った理由は明快だ。被災して亡くなられた方の無念を忘れてはいけない。そして助かった人たちが、亡くなった人や遺族のために行った無償の行為は伝えなくてはならない。風化させてはならないということだ。それが、震災から2年という時間の中で監督の出した答えなのだろう。（あきべえ）

日刊
ア新東京

No.1090

2013年
3月26日(火)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

「忘れてはならない東京大空襲」 千羽鶴奉納と平和集会

約10万人が亡くなったとされる太平洋戦争末期の東京大空襲から68年目となった3月10日、郵政退職者協議会東京が主催する「忘れてはならない東京大空襲・東京平和集会」が開催されました。9回目となった今集会には、これまでの最高となる184名が集まり、新東京支部から現役・退職者合わせて30名以上が参加しました。

集会の前段には、墨田区両国にあ

る東京都慰霊堂に集合し、「心ひとつに」平和を願い、東京大空襲や戦災犠牲者に祈りを捧げました。退協の方が用意してくれた花を一人一人が献花台に献花し静かに慰霊堂にすすんでいきました。

東京慰霊堂はお寺のような外観ですが、関東大震災の犠牲者慰霊施設として建てられました。入って右側には関東大震災の大きな油絵があり、左側に石川光陽氏の東京大空襲の写

真が掛かっています。正面にはたくさんのお花があります。正面右には木彫り像、しかし左側の東京大空襲側には何もありません。あくまでも関東大震災の慰霊施設を間借りしている、ということのようです。

施設関係者に申し出て2つの千羽鶴を慰霊堂に奉納しました。

慰霊堂の裏に移動しました。年に2度しか扉が開かない納骨堂は1つに500人分くらいの名もなき遺骨が入り、その大きな骨壺が天井までずらりと並んでいました。

集会所場の江戸東京博物館へ移動し、平和集会に参加しました。

司会から、「J.P.労組の現役が2月24日に江東区北砂にある戦災資料センターで学習会をやってきました。日本はドイツと三国同盟だった、ドイツ・ドレスデンでも連合軍による空爆があった。東京の大空襲は3月10日だけではない。5月25日に決

谷や青山が焼けた山の手空襲あった。戦争の悲惨さ伝えていかないとけない」と開会の挨拶がありました。

退協東京会長の畑中正直さんから「現在の『歴史』は勝者の歴史ではない。映像を見たがすべてアメリカが撮影したものだ。本当の歴史は被害を受けた人が事実を語り弱者の立場に立ったものでなくてはならない。今の日本は右傾化している。竹島や尖閣などを政治的に利用し憲法改正し軍隊を持ちたいというのが今の政府なのだ。戦争で亡くなった方も生き残った方も苦しい思いをしてきている。若い人にB29とはなにかと質問したら高価なえんぴつと答えていた。超空の要塞B29は日本の戦闘機が飛べない上空1万円で飛んで来て日本に近くに来るとグリーンと降下し爆撃する、昔はあたり前に知っていたが今は違う。風化させないように、後世にこれこそ本当の歴

史だと伝えていかなくてはならない」と主催者代表の挨拶がありました。

東部地区会長の来田さんから「墨田電話局では電話交換手として働いていた28名の娘さんが亡くなった。N.T.T前に慰霊碑がある。橋本よし子さんは東京大空襲の時に助けてくれた人のひとりが郵便局員だったが、現在でも調べるすべはない」など、平和集会の変遷と取り組む重要性、語り継ぐ必要性を話してくれました。

集会参加者によるトークが始まり12〜3人から「満蒙開拓団と沖縄は棄民政策だ。フクシマも同じ」「憲法だけは守らないと国防軍へ。20年後には孫の代で徴兵となってしまう」「戦争いいじゃんすべてリセットされる、と言う若者もいる。非正規労働者や貧困問題も関係している」「反核で40年やってきた」「北区に師団坂というのがあつた。東京の戦跡を見に行ったらどうか」「自民党が原

発54基作り、憲法変えようとしている。戦争が起きれば原発がねらわれる。平和憲法守らなくてはならない」「若い頃から反戦の思いがあるが息子に伝えるのは難しい。アルジェリアの事件で在留邦人保護の名目で自衛隊を海外へとエスカレートしていきそうだ。自衛隊は軍隊とおなじ」「東京には慰霊碑も追悼するところもない」「3・10を通して平和や戦争のもんだいを考えていつてもらいたい」「平和のとりにくみに年齢は関係ない。アメリカでは学校の奨学金、軍隊に入れば免除となる。貧困と戦争が関係してくることも考えていこう」と話がありました。

戦争の悲惨さを学び現在に繋がっている社会不安が戦争政策に結びつかないようにしていこうとの郵政退職者の方の声を受け止めてこれからも様々なことを議論していきたいと思いました。

日刊
ア新東京

No.1092

2013年
3月28日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

2特分会A退職者送別会

川上明美さん 重沢義郎さん
成島富藏さん 本間定雄さん
橋爪稔さん 退職おめでとう

3月17日、2特分会(A)退職
送別会を東陽町ルートインホテル宴
会場で開催しました。

2特分会(A)の退職者は川上明
美さん、重沢義郎さん、成島富藏さ
ん、本間定雄さん、橋爪稔さんの5
人です。

当日は3月とは思えない暖かさの
なか、東京の桜の花も咲き出し春が

近くに来ていているんだ
と感じさせられる陽
気でした。

休みのひと、深夜
勤明けや深夜勤前の
ひと、2特OBも参

加し50名近くのたくさんの組合員
に集まっていたきました。

今回の司会は木村分会書記次長で



す。高木分会長から「退職される5
人の先輩の長年の労をねぎらうもの
としてJP労組2特分会として送別
会を開催します。時間の許すかぎり
おすごしください」と開会のあいさ
つがあり送別会がはじまりました。
秋田さんから「本当にお疲れ様で
した、乾杯」と発声していただきシ
ヤンパンで乾杯しました。

料理は、洋食メニュー、肉に魚、
なかなか豪華な食事で大盛況。

おなかも落ち着いてきた頃、新し
い試みで「入局したときの想い出は
どんなことがありますか」「なぜ郵便
局へ入ったのですか」など、打ち合
わせや前振りなしで司会がどんど
質問していき答えてもらう「退職者
とのトークショー」を開始しました。

橋爪さんは「郵便局はたまたま受
けた試験で受かったため。中郵の1
発に入った。新東京開局とともに来
たが銀座・新東京2普・小包と異動

して2特にやってきた。2特に来たのは下山支部長がいたから……。ストの時、東京駅との地下通路を閉鎖して留めた。人間関係の難しさを痛感した」とお言葉をいただきました。

本間さんは「中郵の2特に入った。

2発へ異動し野球「オール中郵」に入ったがまだ弱かった。みんなで練習し全国優勝した。75年のスト権ストでは小石川の旅館に連れていかれた。中郵の局長室で食事した」などの想い出を語っていたいただきました。

成島さんは「中郵の第6普通課へ入った。都庁も受かったが下水道の部署だったので断って郵便局へ来た。普通課ではようやく郵便番号があったくらい時代。特殊は大変だった。みんなありがとね」と、あいさつをしていただきました。

川上さんは「中郵の集配内務課に入った。当時、食堂で味噌汁一杯7円だった。10円持っていって3円

おつり。集内では計画にもいて大変だった。国際・板北・羽田・新東京1普と異動してようやく2特に来た」と、語ったあと、「さとさとさと」と出身地の郷土民謡を披露していただきました。

重沢さんは「東京鉄道郵便局 汐留分局に入局、民間の職場を経験したので最初の印象は『何なんだこの職場は……』と思った。反マル生闘争のあとで職場は騒然としていた。汐留分局には下山さんがいた……。いわゆる59・2で鉄郵の廃止が始まり、仲間とともに国際へ異動。新東京2特に来るときはいやだったけど今は一番良かった」とお言葉をいただきました。司会のしゃべりすぎもありましたが大いに盛り上がり楽しいひとときになりました。

退職される方に「本間さんは制服の下に野球のシャツを着ていた。よく気にかけてくれてお世話になりました。

した」「退職されるととても痛い」「退職しても少し離れたところで見守ってもらいたい」「再雇用されないのでもさみしく思う」、2特OBから「辞めると今日一日何やろうかと考えている」「健康第一で！」と心あたたまる贈る言葉をいただきました。

時間も押し迫り、花束の贈呈、そして最後に下山支部長の団結カンパローで締めくくりました。

たくさんのカンパをいただきました。そして、盛り上げてくださった方々ありがとうございました。

分会幹事が事前準備をして会計係やカメラ係など協力し、大変盛り上がった楽しい送別会となりました。

深夜勤など勤務の都合等で参加できなかったみなさん、次回はぜひよろしく願います。



日刊
ア新東京

No.1093

2013年
3月29日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

退職者の皆様

長い間お疲れ様でした

3月31日付けで、定年退職者28名、再雇用終了者21名、65歳定年でも多くの組合員たちが退職を迎えます。

東日本大震災から2年経ちました。あの3月11日から私たちの生活にさまざまなことが影響していることと
思います。関東でも5〜10メートルの津波が海岸線を襲い被害をだしています。福島第1原発では、1日3000人以上が被曝労働で核惨事収束作業をしています。しかし、道筋

は見えていません。

今から42年ほど前：1971〜2（昭和46〜7）年、その当時の状況を紐解くと：都知事選挙で美濃部氏圧勝、大阪は革新黒田氏。郵便料金平均30%値上げ。国労・動労が全国縦断72時間スト。成田空港着工事で第1回強制代執行。沖縄全通と日通労組の統一なる。長期抵抗大衆路線。国鉄総裁がマル生運動中止、不当労働行為を陳謝。公労協全1日統

一スト。沖縄が祖国復帰。自動区分機・人員合理化に反対し拠点局で休暇闘争。72年から「郵政マル生」が激化。大阪小包集中局開局：など、この時代を象徴した事件があります。今年退職される方達は、宅配便事業統合の失敗・赤字そしてポーンスカットなどまさに激動の中、忘れられない退職となるに違いありません。そして、郵政労働運動の激流の中を渡ってきた世代でもあります。

職場の第一線を退職しても『再雇用社員』として、再び職場で共に働く方もいます。後輩への指導と様々な経験の継承をお願いいたします。永きにわたり、仕事、組合活動へのご尽力とご協力、そして多くのご指導、ご鞭撻に感謝申し上げます。健康第一で、あらたな第二の人生を楽しんでください。

新東京支部 支部長 下山 薫

2013年3月31日退職者のみなさん 長い間お疲れ様でした

定年退職者

第1輸送分会	丸山 俊朗 さん	第1・2ゆうパック分会	瀧川 益男 さん
第1輸送分会	関根 一雄 さん	第1・2ゆうパック分会	深尾 忠史 さん
第1普通郵便分会	本間 昇 さん	第1・2ゆうパック分会	山口 茂 さん
第1普通郵便分会	長谷川 知三 さん	第3ゆうパック分会	船越 正行 さん
第1普通郵便分会	佐山 忠一 さん	第3ゆうパック分会	内田 栄二 さん
第1普通郵便分会	安藤 友司 さん	第3ゆうパック分会	山寺 五男 さん
第1普通郵便分会	藤木 建 さん	第3ゆうパック分会	目黒 友久 さん
羽田分会	原 正行 さん	第3ゆうパック分会	堀込 辰郎 さん
第2普通郵便分会	上野 光二 さん	第2特殊郵便分会	川上 明美 さん
第2普通郵便分会	隈元 章文 さん	第2特殊郵便分会	本間 定雄 さん
第1特殊郵便分会	入江 則夫 さん	第2特殊郵便分会	橋爪 稔 さん
第1特殊郵便分会	大澤 愛一 さん	第2特殊郵便分会	成島 富藏 さん
第1特殊郵便分会	高本 勝彦 さん	第2特殊郵便分会	重澤 義郎 さん
第1特殊郵便分会	村谷 隆 さん	第2特殊郵便分会	黛 秀男 さん

再雇用終了退職者

第1輸送分会	石塚 孝夫 さん	第3ゆうパック分会	横田 秀治 さん
第1輸送分会	油井 薫 さん	第3ゆうパック分会	山名 要 さん
第1普通郵便分会	岡 憲治 さん	第3ゆうパック分会	吹田 活夫 さん
第1普通郵便分会	金子 誠 さん	第3ゆうパック分会	田波 一夫 さん
第1普通郵便分会	牧野 勝信 さん	羽田分会	山本 實 さん
第1普通郵便分会	牧野 直正 さん	羽田分会	石黒 喜和 さん
第1普通郵便分会	中山 富夫 さん	第2普通郵便分会	舘野 克二 さん
第1特殊郵便分会	佐藤 昭次 さん	第2普通郵便分会	柴野 俊昭 さん
第1特殊郵便分会	八嶋 正夫 さん	第2普通郵便分会	中川 壽三夫 さん
第1特殊郵便分会	安西 照雄 さん	第2普通郵便分会	虎井 章 さん
		第2普通郵便分会	金子 治 さん

